

文教施設 体育館（一般体育館）に求められる床性能適合試験の実施

【経緯】

学校施設や体育館では 文科省の指針もあり、近年 地域の公共施設として避難所や児童施設などに使用される自治体があり、これにより断熱性能を求められる事例が増えております。この様なニーズに断熱床下地材であるネダフォームは断熱性と基材となる発泡ポリスチレンの適度な緩衝性により多くの公共施設で採用されており、仕様規格に適合するか床性能評価試験を実施しました。

【文教施設 体育館（一般体育館）に求められる床性能】

体育館の床性能は鋼製床下地（又は置床下地）を用いた場合でのJIS規格に定められた撓み、衝撃性、弾力性、硬さ（Gs）等の基準が要求されてます。

【ネダフォームの床性能適合性について】

性能項目		体育館用鋼製根太（規格値）	発泡プラスチック床下地	適否
鉛直载荷たわみ		14.7kN/m ² 積載時の最大撓み量20mm以下（最大残留撓み 1.5mm以下）	14.7kN/m ² 積載時の最大撓み量0.3mm 残留歪み0.0mm	適合
繰り返し衝撃性		有害な破損・緩み・外れが無い事	損傷無し	適合
弾力性	弾力性値	最大値 1.378～0.0 最低値 1.378～-0.2	0.13～0.16	適合
	緩衝効果	15～40	17～19	適合
	振動減衰	0.45秒以下	0.04～0.06秒	適合
硬さ（Gs）		100G以下	74～78	適合
耐久性	塩水噴霧	錆・塗膜剥がれ・有害な表面変化	該当せず	—
	亜鉛の付着	—		—
ボルト等の耐久性		—		—
ボルト等に用いる合成樹脂強度		—		—
大引・根太の形状		—		—
安定性		—		—

